

政策会議付議事案書 (平成31年1月16日)

提案課名 企 画 課、産業政策課、都市政策課、都市整備課
 報告者名 高垣 秀一、佐藤 伸一、小谷 幹夫、中原 慎吾

<p>事案名</p>	<p>秦野SA (仮称) スマートICを活かした周辺土地利用構想の「産業利用促進ゾーン等に関わる整備方針 (案)」について</p>	<p>有 資料 (無)</p>												
<p>目的・必要性</p>	<p>首都圏中央連絡自動車道(圏央道)及び新東名高速道路の部分開通を背景に、沿線自治体では地域経済を好転させるための企業誘致に関する取組みが本格化しています。</p> <p>本市では、平成32年度(2020年度)の開通を目指す新東名高速道路及び秦野SAスマートICの整備による交通優位性を活かし、本市の持続的な発展と魅力ある都市づくりを実現するため、秦野SAスマートIC周辺土地利用推進委員会(以下、「土地利用推進委員会」という。)及び産業利用促進部会において、「産業利用促進ゾーン」の具体的検討を進めています。</p> <p>現在、平成30年3月に戸川土地区画整理事業準備組合が設立され、市への技術的援助の要請を受けて、事業計画等作成支援を進め、新東名開通と同時期に同組合の設立認可、市街化区域への編入を目指しています。</p> <p>つきましては、土地区画整理事業及び企業誘致の円滑な推進を図るため、全庁関係部局の連携のもと、次のとおり「産業利用促進ゾーン等に関わる整備方針(案)」を定めるものです。</p>													
<p>経過・検討結果</p>	<p>1 土地利用推進委員会、産業利用促進部会 ・土地利用推進委員会での協議(計6回) ※平成30年12月27日 産業利用促進ゾーン等に関わる整備方針(案)について協議 ・産業利用促進部会での協議(計10回)</p> <p>2 土地区画整理事業 平成28年5月～平成29年2月 戸川まちづくり勉強会(計4回) 平成29年6月～平成30年1月 戸川まちづくり推進検討会(計6回) 平成30年3月24日 秦野市戸川土地区画整理準備組合設立 平成30年4月17日～ 土地区画整理法第75条に基づく、市への技術的援助の要請を受け技術支援</p>													
<p>決定等を要する事項</p>	<p>【産業利用促進ゾーン等に関わる整備方針(案)】</p> <table border="1" data-bbox="319 1545 1404 1937"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①企業誘致</td> <td>・産業街区全域に地域資源を生かした優良な企業を誘致</td> </tr> <tr> <td>②土地区画整理</td> <td>・街区の適正配置及び東側隣接地(既存市街化工業地域)の有効活用を図るため、事業区域に取込む</td> </tr> <tr> <td>③関連道路整備</td> <td>・都市計画道路(構想路線)の整備 ・市道の適正配置</td> </tr> <tr> <td>④水路整備</td> <td>・矢坪沢の環境整備</td> </tr> <tr> <td>⑤上下水道</td> <td>・上水の安定供給 ・上下水道の適正配置</td> </tr> </tbody> </table>		項目	内容	①企業誘致	・産業街区全域に地域資源を生かした優良な企業を誘致	②土地区画整理	・街区の適正配置及び東側隣接地(既存市街化工業地域)の有効活用を図るため、事業区域に取込む	③関連道路整備	・都市計画道路(構想路線)の整備 ・市道の適正配置	④水路整備	・矢坪沢の環境整備	⑤上下水道	・上水の安定供給 ・上下水道の適正配置
項目	内容													
①企業誘致	・産業街区全域に地域資源を生かした優良な企業を誘致													
②土地区画整理	・街区の適正配置及び東側隣接地(既存市街化工業地域)の有効活用を図るため、事業区域に取込む													
③関連道路整備	・都市計画道路(構想路線)の整備 ・市道の適正配置													
④水路整備	・矢坪沢の環境整備													
⑤上下水道	・上水の安定供給 ・上下水道の適正配置													
<p>今後の取扱い</p>	<p>産業利用促進ゾーン等に関わる整備方針(案)に基づき、庁内関係部局において取組み、その他、重要な事項が生じた場合には、必要な都度、協議するものとする。</p>													